



平成23年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月2日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 7446 URL <http://t-kagaku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理グループ長 (氏名) 築館 宏治 (TEL) 0172(33)8131  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第1四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第1四半期	4,682	4.2	24	△43.0	30	△36.4	△1	—
22年9月期第1四半期	4,494	0.1	43	—	48	—	△28	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第1四半期	△0 39	— —
22年9月期第1四半期	△5 90	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第1四半期	9,490	4,158	43.8	867 66
22年9月期	8,749	4,178	47.8	871 91

(参考) 自己資本 23年9月期第1四半期 4,158百万円 22年9月期 4,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	— —	0 00	— —	10 00	10 00
23年9月期	— —	— —	— —	— —	— —
23年9月期(予想)	— —	0 00	— —	15 00	15 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期(累計)	9,700	△3.2	150	△18.1	160	△18.7	65	△13.6	13 56	13 56
通期	19,200	0.2	275	9.6	305	9.4	105	43.8	21 90	21 90

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年9月期1Q	4,800,000株	22年9月期	4,800,000株
23年9月期1Q	7,581株	22年9月期	7,581株
23年9月期1Q	4,792,419株	22年9月期1Q	4,793,530株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第1四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新興国の順調な景気拡大や政府の経済対策の効果により、企業収益、民間設備や個人消費に一部回復の兆しがみられたものの、依然として厳しい雇用状況、デフレ状況や円高基調の継続等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中で、当社グループは、ビジネス環境変化に対するスピーディーな体質改革を図り、積極的な営業活動をしてまいりました。

利益面では、各種経費削減を継続的に取り組んでおり、収益構造は着実に改善しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、46億82百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は24百万円（前年同期比43.0%減）、経常利益は30百万円（前年同期比36.4%減）、投資有価証券の評価損等を特別損失に計上したため、四半期純損失は1百万円（前年同期は四半期純損失28百万円）となりました。

各セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### （化学工業薬品）

化学工業薬品では、半導体関連企業の製造が回復基調にあり化学工業薬品の需要は伸びましたが、関連機器は前連結会計年度に大型補正予算があったため落ち込みました。しかしながら、売上高は26億28百万円となりました。

#### （臨床検査試薬）

臨床検査試薬においては、国立病院機構の共同入札にみられる購入形態の変化など、取り巻く環境は非常に厳しい状況であります。しかしながら、検査試薬及び検査用機器の売上が伸び売上高は15億61百万円となりました。

#### （その他）

食品、農業資材においては、少子化、景気低迷の影響を受け、消費低迷により厳しい環境でした。しかしながら、売上高は、4億91百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、7億41百万円増加し、94億90百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、7億62百万円増加し、53億32百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、20百万円減少し、41億58百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

#### （資産）

資産の増加の主な原因は、四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

#### （負債）

負債の増加の主な原因は、四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

#### （純資産）

純資産の減少の主な原因は、配当金の支払によるものであります。

#### ②連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、3億16百万円増加し、9億54百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は3億35百万円（前年同四半期は、5億69百万円の収入）となりました。主な要因は、売上債権の増加額3億94百万円、仕入債務の増加額8億44百万円及び法人税等の支払額1億8百万円によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は12百万円（前年同四半期は、17百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得12百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は5百万円(前年同四半期は、9百万円の支出)となりました。主な要因は、リース債務の支払による支出5百万円によるものであります。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第1四半期までの業績動向を踏まえ、平成22年11月15日に公表した平成23年9月期の第2四半期累計期間及び通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要なものはありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

①資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益へ与える影響はありません。

②「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これによる損益へ与える影響はありません。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	960,110	643,298
受取手形及び売掛金	4,662,141	4,270,402
商品	609,137	573,981
その他	30,958	63,039
貸倒引当金	△45,571	△42,624
流動資産合計	6,216,776	5,508,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	503,003	500,016
土地	1,333,202	1,333,202
その他(純額)	272,289	282,075
有形固定資産合計	2,108,495	2,115,295
無形固定資産		
のれん	1,634	1,961
その他	10,351	11,166
無形固定資産合計	11,985	13,128
投資その他の資産		
投資有価証券	693,716	660,984
その他	464,033	455,698
貸倒引当金	△4,185	△4,183
投資その他の資産合計	1,153,563	1,112,501
固定資産合計	3,274,044	3,240,925
資産合計	9,490,821	8,749,023
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,954,016	4,109,013
未払法人税等	4,695	112,495
賞与引当金	2,050	32,400
その他	155,708	128,430
流動負債合計	5,116,470	4,382,339
固定負債		
退職給付引当金	11,345	10,221
役員退職慰労引当金	57,406	60,537
その他	147,407	117,362
固定負債合計	216,158	188,121
負債合計	5,332,629	4,570,460

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,390,109	2,439,923
自己株式	△4,007	△4,007
株主資本合計	4,087,602	4,137,416
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	70,590	41,146
評価・換算差額等合計	70,590	41,146
純資産合計	4,158,192	4,178,563
負債純資産合計	9,490,821	8,749,023

## (2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	4,494,800	4,682,010
売上原価	3,997,156	4,156,217
売上総利益	497,643	525,792
販売費及び一般管理費	453,863	500,856
営業利益	43,779	24,936
営業外収益		
受取利息	513	351
受取配当金	2,107	3,066
その他	2,290	3,835
営業外収益合計	4,910	7,253
営業外費用		
支払利息	19	32
その他	98	1,263
営業外費用合計	117	1,295
経常利益	48,573	30,894
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	—	4,000
その他	—	268
特別利益合計	—	4,268
特別損失		
投資有価証券評価損	56,721	12,865
投資事業組合運用損	3,457	169
その他	—	694
特別損失合計	60,179	13,730
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,606	21,431
法人税、住民税及び事業税	2,907	3,140
法人税等調整額	13,755	20,180
法人税等合計	16,662	23,321
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△1,889
四半期純損失(△)	△28,269	△1,889

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,606	21,431
減価償却費	14,910	15,820
投資有価証券評価損益(△は益)	56,721	12,865
引当金の増減額(△は減少)	△17,695	△29,408
受取利息及び受取配当金	△2,620	△3,417
支払利息	19	32
売上債権の増減額(△は増加)	△653,743	△394,741
たな卸資産の増減額(△は増加)	△62,530	△35,155
仕入債務の増減額(△は減少)	1,209,827	844,190
その他	40,035	8,178
小計	573,318	439,795
利息及び配当金の受取額	2,688	3,475
利息の支払額	△19	△32
法人税等の支払額	△6,524	△108,155
営業活動によるキャッシュ・フロー	569,463	335,082
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10,028	△12,704
投資有価証券の取得による支出	△3,701	△4,442
その他	△3,660	4,432
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,390	△12,714
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	11,000	20,000
短期借入金の返済による支出	△11,000	△20,000
配当金の支払額	△4,840	△180
その他	△4,546	△5,376
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,387	△5,556
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	542,686	316,811
現金及び現金同等物の期首残高	377,246	637,298
現金及び現金同等物の四半期末残高	919,932	954,110

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、化学工業薬品及び臨床検査試薬並びにこれらに付随する関連機器の販売等の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので記載は省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び支店がないため、所在地別セグメント情報の記載は省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため記載は省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、化学工業薬品・化学工業薬品関連機器、臨床検査試薬・臨床検査試薬関連機器、食品添加物・食品加工機器、農業資材・農業関連機器の販売を行っております。従いまして、当社の報告セグメントは「化学工業薬品」「臨床検査試薬」「その他(食品添加物、農業資材)」から構成されております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	化学工業薬品	臨床検査試薬	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	2,628,948	1,561,634	491,427	4,682,010
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,628,948	1,561,634	491,427	4,682,010
セグメント利益	280,101	185,238	60,452	525,792

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。